

0歳児(低月齢児)保育計画

	生後57日～3か月未満	3か月～6か月未満
予想される子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の多くの時間、睡眠と目覚めを繰り返す。 ・生理的欲求や不快を泣いて表す。 ・あやすと泣きやんだり、ほほ笑んだり、あやす人の顔をじっとみつめる。 ・手足を動かしたり声を出したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠と目覚めている時間の感覚が安定してくる。 ・「ウー」「マー」など声を出す。 ・首がすわり、うつ伏せにすると両手で支え、上半身を反らす。 ・寝返りをしようとする。 ・目の前のものを掴んだり、口に入れようとする。 ・表情の変化や喃語で、快・不快を表すようになる。
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの生活リズムを重視し、生理的欲求を満たす。 ・心身ともに快適な状態をつくり情緒の安定を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生理的欲求を満たし、機嫌良く過ごせるように生活リズムを整える。 ・五感を使って周囲を知ろうとする。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの家庭での生活リズムを主軸に保健的な環境の中で、授乳、睡眠、おむつ交換を行い快適に過ごせるようにする。 ・温かい関係の中で「愛されている」自分を感じ、相手を信頼することができるようになる。 ・不快な状態を解決してもらうことで、心地よく安心感を持って過ごせるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○落ち着いた雰囲気の中で、子どもの生活リズムに合わせて、授乳、睡眠が出来るようにする。 ・表情の変化、体の動き、喃語などで感情を表現する ・手に持ったものを口に入れたい、目の前をゆっくり移動する物を見つめたり、色々な感触に触れて遊ぶことを喜ぶ。 ・スプーンから食べることに慣れる。
環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して眠れるよう、ベットの位置や遮光、音に配慮する。 ・ベットの周りの色合いや質感など美しい環境を整える。 ・窒息を予防するため、ベビーベッドの上に睡眠時に不要な布類（タオル、スタイ、ぬいぐるみ等）を置かない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・五感を刺激する遊びができるように、様々な感触（温かい、冷たい、柔らかい、硬い、匂い、色）の素材を用意する。 ・色々なものを口に入れるため、誤飲のないよう大きさに配慮する。また清潔にも配慮する。
配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での生活リズムを聞き、子どもに添ったかわりをする。 ・子どもの体の様子や表情をよく観察し、不快に対するサインを察知し、愛情豊かに受容する。 ・SIDS予防のため5分に1回睡眠チェックを行ない、呼吸、顔色、うつぶせ寝になっていないかを確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達状態を考慮し、離乳食を始める。 ・喃語に優しく応え感情を代弁しながら、感情を表す言葉を認識できるようにする。 ・無理な体勢をとらないように、発達段階を見極める。 ・健康状態、発達状態をみながら徐々に離乳食を進める。
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での様子（睡眠、授乳の仕方）を聞き把握する。 ・保育中の様子を伝え、保護者の思いに配慮しながら不安を和らげていく。 ・保護者が安心できるよう、コミュニケーションをとり信頼関係を築く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での離乳食の進め方の様子を把握し無理なく進める。

0歳児(低月齢児)保育計画

6か月～9か月未満		I期(4月～5月)	
予想される子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> 授乳、睡眠、排泄のリズムができてくる。 離乳食が1回から2回になる。食べることを喜ぶようになる。 寝返りができ、腹ばいで前後に進むようになる。 一人で座れるようになる。 物を持ち替えたり、意欲的に手を伸ばして取ろうとする。 周りの人や環境に興味を持ち始める。人見知りが始まる。 シッターの歌声に喃語で反応したり、リズムを取ったりする。 	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 安定したリズムの中で安心して生活を送れるようにする。 できるだけ特定の教育者が関わり、信頼関係を築き安心して過ごせるようにする。
		保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> 完了報告、引継ぎ時の保護者との会話の中で、保育中の子どもの様子を伝え合い、信頼関係を築く。 一年間の見通しを持てるよう、方針や予定を伝え、保護者にも安心してもらう。
		II期(6～8月)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 優しく言葉をかけたり、喃語に回答しながら、発語の意欲を育てる。 周りの人や環境に興味を持つ。 	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態を把握し、異常のある場合は、適切に対応する。 家庭と連携を取りながら、沐浴・水遊びを楽しむようにする。
内容	<ul style="list-style-type: none"> 喃語に回答し、やり取りを楽しみながら模倣できるようにする。 美しい歌声、面白いリズムの言葉遊びを楽しむ。 安心できる大人と、ふれあい遊びなどを通して、やり取りすることの心地よさを感じる。 遊びの中で本物に触れる体験をし、感性が育つ。 食べることに興味を持ち、喜んで離乳食を食べる。 お座り、ハイハイなど自分で姿勢を変えて遊ぶ。 	保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> 汗をかいたら着替えられるよう、着替えを多めに用意してもらう。
		III期(9月～12月)	
環境構成	<ul style="list-style-type: none"> 美しい色、音、様々な感触など、本物を用意する。 クッションなどを利用して、発達に応じて体を支えたり、寝返りやすくする。 	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 安心できるシッターとのかかわりの中で、喃語や表情、指差しでの興味を持ちかかわりを楽しめるようにする。 はう、歩くなど体を動かすことを十分に楽しめるようにする。
配慮	<ul style="list-style-type: none"> 優しく話しかけたり、発声や喃語に応えたりして、一緒に楽しみ、喜びを味わえるようにする。 人見知り、甘えなど、様々な感情が出てきて、嫌な時は強く泣くこともあるが、成長の証なので優しく受け止める。 	保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> 気温差が大きく体調を崩しがちになるので、健康状態について連絡を密にする。 気温や活動によって調節できる衣類の用意をお願いする。
		IV期(1～3月)	
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> 母体からの免疫がなくなり、感染症にかかりやすくなるので衛生面や健康状態の連携を取り合う。 離乳食の進み具合(段階、食材)の連携を取り合い無理なく進めていく。 	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 室温の調節や感染症予防などを心がけ、健康に過ごせるようにする。 シッターの仲立ちによって、地域の子どもと触れ合って遊べるようにする。
		保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> 感染症予防に留意し、子どもの健康状態について連絡を密にする。 保育園の入園を控えている場合には、入園後の生活の様子を伝えるなど、保護者にも進級の喜びや安心感をもってもらえるようにする。

0歳児(高月齢児)保育計画

	9か月～12か月未満	12か月～18か月未満
予想される子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠が午前と午後の2回になる。 ・離乳食が3回になる。持ちやすい食材は手づかみで食べ、咀嚼して食べるようになる。 ・つかまり立ちや、つたい歩きができるようになる。 ・物を持って打ち合わせたり、小さい物をつまもうとする。 ・自分自身で動きたいと思うようになる。 ・指差ししたり、簡単な言葉の意味がわかるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・午後一定時間だけの睡眠になる。 ・幼児食に移行する。手づかみやスプーンを使って自分で食べようとする。 ・排尿間隔があき、シッターの言葉かけで便器に座る。 ・歩行が始まり、探索活動が盛んになる。 ・「マンマ」「ワンワン」など一語文を話すようになる。 ・自我が芽生え、自分の思いを伝えようとする。
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの愛着行動や、依存の欲求を受け止め、安定した生活が送れるようにする。 ・自分の感情を喃語や体を揺らすなどして表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りのことに興味を持ち、自分でやってみようとする気持ちを育てる。 ・いろいろな素材の感触の違いや、美しいものに触れる。
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○甘えなどの感情の表し方を理解し受け入れて、安心して過ごせるようにする。 ・気に入った音楽に合わせて体を揺らしてリズムをとる。 ・手づかみやスプーンを使って、自分なりの方法で喜んで食べる。コップを自分で持って飲める。 ・つかまり立ちや伝い歩きなどを楽しみながら、身の周りの物に興味を持ち、自分なりの方法で遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分でやりたいという気持ちを受け止め、満足感が得られるようにする。 ・片言や仕草で自分の思いを伝えようとする。 ・こぼしながらもスプーンや手づかみで食べる。 ・衣類の着脱に興味を持ち、やってみようとする。 ・タイミングを見てトイレに誘い便器に慣れる。 ・いろいろな素材の感触を楽しむ（ザラザラ、ニルニル等）。
環境構成	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行やつかまり立ちの際、転倒に注意し、子どもに合った移動運動や探索が十分楽しめる場所を用意する。 ・様々なジャンルの本物の音楽素材を用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな探索活動が楽しめるよう、玩具を使って工夫する。 ・子どもが自由に触れられるように、色々な感触の素材は、安全に配慮したものをを用意する。
配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・模倣して声を出せるように、ゆっくり優しく話しかける。 ・手づかみしやすい食材を心掛け、補助しながらも自分で食べる意欲を育てる。子どもの口の動きに合わせて言葉を掛け、咀嚼を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自我が芽生えてくるので、甘えたい気持ちや要求をきちんと受け止める。嘔み付き、引っかかりが出てくるので、子どもの発達状態を把握する。 ・衣服の着脱は、途中まで手伝いながら、できた部分を褒め、できた喜びを感じられるようにする。 ・素材の感触を豊かな言葉で伝える。
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・活動範囲が広がるので、けがや誤飲などの事故が起きないよう、環境などの見直しを伝える。 ・子どもが意志を持ち始めているので、生活の中で子どもを持ってあげることの大切さを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お世話中に楽しんでいる絵本や歌遊びを伝え家庭でも一緒に楽しめるようにする。

0歳児(高月齢児)保育計画

18か月～24か月未満		I期(4月～5月)	
予想される子どもの姿	<ul style="list-style-type: none"> 授乳、睡眠、排泄のリズムができてくる。 離乳食が1回から2回になる。食べることを喜ぶようになる。 寝返りができ、腹ばいで前後に進むようになる。 一人で座れるようになる。 物を持ち替えたり、意欲的に手を伸ばして取るようになる。 周りの人や環境に興味を持ち始める。人見知りが始まる。 シッターの歌声に喃語で反応したり、リズムを取ったりする。 	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 安定したリズムの中で安心して生活を送れるようにする。 できるだけ特定の教育者が関わり、信頼関係を築き安心して過ごせるようにする。
		保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> 完了報告、引継ぎ時の保護者との会話の中で、保育中の子どもの様子を伝え合い、信頼関係を築く。
		II期(6～8月)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 優しく言葉をかけたり、喃語に回答しながら、発語の意欲を育てる。 周りの人や環境に興味を持つ。 	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態を把握し、異常のある場合は、適切に対応する。 家庭と連携を取りながら、沐浴・水遊びを楽しむようにする。
内容	<ul style="list-style-type: none"> 喃語に回答し、やり取りを楽しみながら模倣できるようにする。 美しい歌声、面白いリズムの言葉遊びを楽しむ。 安心できる大人と、ふれあい遊びなどを通して、やり取りすることの心地よさを感じる。 遊びの中で本物に触れる体験をし、感性が育つ。 食べることに興味を持ち、喜んで離乳食を食べる。 お座り、ハイハイなど自分で姿勢を変えて遊ぶ。 	保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> 汗をかいたら着替えられるよう、着替えを多めに用意してもらう。
		III期(9月～12月)	
環境構成	<ul style="list-style-type: none"> 美しい色、音、様々な感触など、本物を用意する。 クッションなどを利用して、発達に応じて体を支えたり、寝返りしやすくする。 	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 安心できるシッターとのかかわりの中で、喃語や表情、指差しでの興味を持ちかかわりを楽しめるようにする。 はう、歩くなど体を動かすことを十分に楽しめるようにする。
配慮	<ul style="list-style-type: none"> 優しく話しかけたり、発声や喃語に応えたりして、一緒に楽しみ、喜びを味わえるようにする。 人見知り、甘えなど、様々な感情が出てきて、嫌な時は強く泣くこともあるが、成長の証なので優しく受け止める。 	保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> 気温差が大きく体調を崩しがちになるので、健康状態について連絡を密にする。 気温や活動によって調節できる衣類の用意をお願いする。
		IV期(1～3月)	
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> 母体からの免疫がなくなり、感染症にかかりやすくなるので衛生面や健康状態の連携を取り合う。 離乳食の進み具合(段階、食材)の連携を取り合い、無理なく進めていく。 	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 室温の調節や感染症予防などを心がけ、健康に過ごせるようにする。 シッターの仲立ちによって、地域の子どもと触れ合って遊べるようにする。
		保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> 感染症予防に留意し、子どもの健康状態について連絡を密にする。 保育園の入園を控えている場合には、入園後の生活の様子を伝えるなど、保護者にも進級の喜びや安心感をもってもらえるようにする。

1歳児保育計画

		I 期 (4月~5月)	II 期 (6月~8月)
予想される子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境に不安になり泣くことがあるが、徐々に新しい生活に慣れる。 ・戸外で遊ぶことで、開放感を感じ心が安定する。 ・特定のシッターにスキンシップを求める ・喃語や片言を優しく受け止めてもらい言葉のやり取りを楽しむ。 ・手助けされながら手づかみや、スプーンを使って食べようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌やリズムに合わせて、体を動かして楽しむ。 ・行動範囲が広がり、室内・戸外ともに好きな場所を探索する。 ・汗をかく時期なのであせもやオムツかぶれができやすくなる。 ・絵本などを通してトイレに興味を持つ。
ねらい		<p>○子どもの生活リズムを大切にし、生理的欲求や甘えなどの依存・欲求をみだし生命の保持と情緒の安定を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シッターとの信頼関係を築く。 ・シッターに見守られながら、好きな遊びを楽しむ。 	<p>○食事の量や休息の時間などに留意し、梅雨・夏を快適に過ごせるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な素材、環境に触れ、全身や手先を使った遊びを楽しむ。 ・夏の自然に親しむ。
内容	養護	<p>○子どもの子どもの健康状態や心身の発達状態を把握し、異常のある場合は適切に対応する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不安時にシッターの優しい表情や抱っこなどでぬくもりを感じ安心して生活する ・楽しい雰囲気の中で、手づかみやスプーンを使い自分で食べる。 	<p>○気温や活動に合わせて、皮膚の清潔を保つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレに誘うと便器に座る。 ・食事の前後に手や顔を拭いて、きれいになった心地よさを味わう。
	学び(遊び)	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩や戸外遊びで、草花や虫に触れたり、自然に親しむ。 ・戸外や室内で、好きな遊びを十分に楽しむ。 ・シッターの身振りや言葉を真似るなどして自分から関わろうとする。 ・自分の意志を表情や身振りで表す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の感情を存分に表現し、他者と一緒に遊ぶ。 ・大人の話していることが理解できるようになり、簡単な意思表示ができる。 ・いろいろな感触の素材に触れ全身を使って夏の遊びを楽しむ。昆虫や夏の植物に触れる。
環境構成		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達や興味に合ったおもちゃを用意し、十分に楽しめるようにする。 ・転倒しやすいので、遊びの障害になるものがないか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋の風通しに気を配り、心地よい環境の中で食事、睡眠、活動ができるようにする。 ・火傷、溺水、脱水症など夏季特有の事故のないよう、環境の点検をする。
配慮		<ul style="list-style-type: none"> ・好んでいたおもちゃなどを用意し、安心して遊びを継続できるようにする。 ・月齢により体力の差が大きいので、一日の生活をゆったりとした流れにする。 ・不安な時は、抱っこしたり、ひざに座らせるなど丁寧に関わる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・室温、湿度に留意しながら、十分な休息や水分補給を行い体調管理をする。 ・子どもの興味関心のあることを観察し、発達に適した遊びを取り入れられるようにする。
保護者との連携		<ul style="list-style-type: none"> ・完了報告、引継ぎ時の保護者との会話の中で、保育中の子どもの様子を伝え合い、信頼関係を築く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・汗をかいたら着替えられるよう着替えを多めに用意してもらう。 ・排泄の間隔を保護者に確認しながら、トイレに誘ったり、パンツへ移行する時期を話しあう。

1歳児保育計画

		Ⅲ期（9月～12月）	Ⅳ期（1月～3月）
予想される子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> ・自分より少し大きい子どもの存在に興味を示し、関わろうとするようになる ・スプーン、フォークを使って自分で食べようとする。 ・体を十分動かし、戸外遊びを楽しむ。 ・トイレでの排泄に興味を持つ。 ・衣類の着脱に興味を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きくなった喜びを感じ、進級への期待を持つ。 ・他者と一緒に遊ぶことを楽しむ。 ・シッターや他者と遊ぶ中で言葉のやり取りを楽しむ。
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> ○シッターに見守られ援助されながら、身の回りのことを自分でできるようにする ・簡単なしぐさや言葉で自分の思いを伝えようとする。 ・全身を動かすことを十分に楽しむ。 ・秋の自然に親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○室温、湿度、換気に留意しながら快適に過ごせるようにする。 ・身の回りのことを自分でやろうとする。 ・手先、指先を使った遊び、いろいろな素材の感触を楽しむ。 ・冬の自然に親しむ。
内容	養護	<ul style="list-style-type: none"> ・食事や排泄、口拭きなどを自分でしようとする。 ・色々な食材に少しずつ慣れていく。 ・食事前後の挨拶や動作や言葉でできるようになる。 ・オムツが濡れている不快さを、仕草や言葉で知らせる。 ・シッターに援助されながら、簡単な着脱を自分でおこなう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○換気や加湿を行い感染症を予防する。 ・シッターの介助なしで、ほとんど自分で食べられる。 ・シッターに見守られながら便器で排尿できる。 ・簡単な着脱を自分でする。ボタンに興味を持つ。 ・鼻水が出ていることを言葉で伝え、拭いてもらう。
	学び（遊び）	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩や戸外遊びで秋の自然に触れ、探索活動を楽しむ。 ・歩く、走る、跳ぶなど全身を動かすことを楽しむ。 ・シッターや周囲の大人と簡単な言葉の繰り返しや模倣を楽しむ。 ・遊びの中で、生活に必要な言葉を知る ・絵本、歌の世界に「イメージ」を膨らませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の自然物に触れたり、不思議さを感じる。 ・粘土、ひも通しなど手先や指先を使って遊ぶ。 ・絵本世界や、日常の見立て遊びを通して、言葉のやりとりをする。 ・感触や質感の違う素材で自由に遊ぶ。
環境構成		<ul style="list-style-type: none"> ・遊びや着替えをじっくり行なえるよう落ち着いた環境を用意する。 ・季節の変化を感じられるように、秋の素材を手の届く場所に設置する。 ・マットや斜面を活用して、全身を使う動きを楽しめるようにする。 ・きれいな色の絵本、いろいろなジャンルの音楽を用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で身の回りのことができるように、着替えや靴の置き場所などを配慮する。 ・色々な感触（温かい、冷たい、柔らかい、硬い、色、匂い、）の安全に配慮した素材を用意する。
配慮		<ul style="list-style-type: none"> ・パンツ、ズボンなどを履きやすいように置くなど、身の回りのことを自分でできるように最小限の介助を行なう。 ・自分でできた喜びを味わうようにする ・様々なやりとりの中で、互いの気持ちを言葉で伝えられるように手助けする。 ・散歩や活動中に気付いたこと、感じたことを引き出すような言葉がけをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シッターが仲立ちとなり他者との関わり方を丁寧に伝える。 ・「自分で」の気持ちが強くなるが、上手くできないところもあるので、見守り、励まし、認めながら意欲と自身へつなげる。 ・直接やり方を教えるのではなく、「どうやったらできるのか」考えられるような言葉を掛ける。
保護者との連携		<ul style="list-style-type: none"> ・戸外遊び用の上着は動きやすい素材、デザインのものを用意してもらう。 ・「自分で」という気持ちの成長を伝え合い、対応のしかたを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・寒いと厚着になりやすいので、調節できる衣類の用意をお願いする。 ・入園を控えている場合には、入園後の生活の様子を伝えるなど、保護者にも進級の喜びや安心感をもってもらえるようにする。

2歳児保育計画

		I 期 (4月~5月)	II 期 (6月~8月)
予想される子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> ・感受性が豊かになり、引継ぎ時に保護者からなかなか離れられず、泣く子どももいる。 ・好きな遊びを見つけて遊ぼうとする。 ・楽しい雰囲気の中で好きなものだけ食べたり、手づかみで食べたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シッターに促されてスプーンやフォークをしっかり持って食べる。 ・自分から着替える姿が見られる。 ・トレーニングパンツからパンツへ移行し、自分からトイレに行きはじめる。 ・言葉で自分の気持ちを伝えようとするが、自己主張が強くなったり、トラブルが多くなったり、かんしゃくを起こしたりする。 ・好きな絵本を繰り返し読み楽しんだり、面白さを共有して喜ぶ。
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> ○保健的で安全な環境を作り、一人ひとりの欲求を丁寧に受け止め、快適に生活できるようにする。 ・シッターに見守られながら、好きな遊びを見つけて楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○梅雨や暑い時期を健康で快適に過ごせるようにする。 ・シッターに手伝ってもらいながら、身の回りのことを自分でしようとする。 ・シッターと関わりながら、夏の遊びを十分に楽しむ。
内容	養護	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭的で温かな環境の中で、安心して過ごせるようにする。 ・楽しい雰囲気の中でスプーンやフォークを使って食事する。 ・シッターに誘われトイレで排泄しようとする。 ・自分で衣服の着脱をし、できない部分はナニーに手伝ってもらおう。 ・落ち着いた雰囲気の中で安心して午睡する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎日の視診や健康観察を行い、食事や睡眠を調節したり、皮膚の清潔を保つ。 ・楽しい雰囲気の中で、スプーンやフォークを使って食べる。 ・食前、排泄後、汚れに気づいたときに手を洗おうとする。 ・言葉や態度で尿意を知らせて、自分からトイレに行こうとする。
	学び(遊び)	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩や戸外遊びで、花や実を見つけるなど身近な自然に関心を持つ。 ・身近な大人や子どもに感心を持ち、模倣して遊んだり、自ら関わろうとする。 ・好きな絵本を読んでもらったり、簡単な手遊びをしたり、音楽に合わせて体を動かして遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちや自己主張を受け入れてもらい、自己肯定感を得て安心して過ごす。 ・全身をつかって夏の遊びを楽しむ。 ・ちぎる、丸める、ボタンかけ、ファスナーなど手先を使った遊びを楽しむ。 ・児童館、公園などで遊ぶ中で、待つことや、順番などのルールを少しずつ知る。
環境構成		<ul style="list-style-type: none"> ・ゆったりとした生活リズムと雰囲気作りを心がける。 ・好きな遊びが見つかるように様々な素材のおもちゃを用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外での夏の遊びを安全に楽しめるよう環境を整える(紫外線、光化学スモッグに配慮)。 ・美しい色や形の素材を用意する。 ・火傷、溺水、脱水症など夏季特有の事故のないよう、環境の点検をする。
配慮		<ul style="list-style-type: none"> ・健康状態、家庭環境を考慮し、食事や睡眠などを無理なく進める。 ・子どもの気持ちを丁寧に受け止めて、安心して過ごせるようにし、信頼関係を築く。 ・繰り返しの多い絵本の読み聞かせをしたり、歌や手遊びを楽しみながらシッターとの簡単なやり取りができるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・食べる意欲を大切にし、スプーン、フォークの正しい使い方を教える。 ・自分でしたい気持ちを受け止め、さりげなく手伝い自信を育む。 ・児童館、公園などで他者とのやりとりのなかで自己主張が増えるが、子どもの気持ちを受け止め、相手の気持ちを代弁し、相手にも同じ思いがあることを根気よく伝える。
保護者との連携		<ul style="list-style-type: none"> ・完了報告、引継ぎ時の保護者との会話の中で、家庭・保育中の子どもの様子を伝え合い、信頼関係を築く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・汗をかいたら着替えられるよう着替えを多めに用意してもらおう。

2歳児保育計画

		Ⅲ期 (9月～12月)
予想される 子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> 十分に体を動かし、自分から進んで食事をする。個人差はあるが、ほとんどこぼさずに食べられるようになっていく。 尿意を感じるとトイレで排泄し、パンツで過ごす。遊びに夢中になると失敗する時もある。 運動遊びを喜び、意欲的に取り組む様子が見られる。 公園や児童館などでは他者と「ごっこ遊び」をするなど、一緒に遊ぶようになる。 思いやりや感謝の気持ちに気づき、言葉や態度で表そうとする。
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> ○季節の変化に留意し、快適に過ごせる環境を整え、心身ともに伸び伸びと過ごせるようにする。 ・秋から冬にかけての自然に興味を持つ。 ・公園や児童館などで他者と一緒に遊ぶ中で、思いやりや感謝の気持ちが芽生える。
内容	養護	<ul style="list-style-type: none"> ○季節の変わり目なので汗の始末や、衣服の調節を行い健康に留意する。 ・楽しい食事の中にもマナーがあることを知る。箸に興味を持ち始める。 ・様々な食材になれ、食べられる量を自分で決めたり、最後まで食べようとする ・衣服の前後、裏表を意識して自分で着脱しようとする。 ・尿意、便意を知らせ、自分からトイレに行き排泄しようとする。
	学び(遊び)	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩や探索を楽しみ、集めた自然物の形、色、匂いなどに関心を持って遊ぶ。 ・走る、跳ぶ、ぶら下がるなど、全身を使った遊びを楽しむ。 ・経験したことを遊びの中で再現したり、表現して遊ぶ。 ・シッターに他者の思いを代弁してもらい、自分なりの方法で答える。 ・絵本や言葉遊びを通して、外国の言葉に興味を持つ。
環境構成		<ul style="list-style-type: none"> ・全身を使った活発な遊びが多くなるので、十分な広さや障害物のない場所を選ぶ。 ・季節の変化を感じられるように、秋の素材を手の届く場所に設置する。 ・外国の文化（言葉、音楽、食事など）の素材を用意する。
配慮		<ul style="list-style-type: none"> ・シッターの声かけで衣服の調節に気付けるようにしたり、戸外遊びの後の手洗い方法や手順を伝え、習慣づけるようにする。 ・苦手な食材は無理強いせず、少量でもよいので自分で食べる意欲をもてるように配慮する。 ・衣服の前後、裏表が間違えている時は、一人でできたことを認め、優しい言葉かけで間違いに気付けるようにする。 ・遊びに夢中になっているときは、トイレに行くことに気付けるように、排尿間隔を把握して時々声を掛ける。
保護者との連携		<ul style="list-style-type: none"> ・他者と一緒に遊んでいる様子や、子ども自身が頑張っている姿を完了報告や引継ぎ時に伝え、保護者と共に喜べる雰囲気を作る。 ・簡単な身の回りのことを喜んでする姿を伝え、着脱しやすい衣類の準備や見守ることの大切さを伝える。 ・戸外遊び用の上着は動きやすい素材、デザインのものを用意してもらう。

2歳児保育計画

		IV期 (1月～3月)
予想される 子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> ・箸を使って食事することに興味を持つ。 ・身の回りのことがほぼ一人ででき、清潔や安全の習慣が少しずつ身についている。 ・尿意や便意を感じると自分からトイレに行く。 ・語彙が増え、自分の思いを表現しながら、絵本を見たりごっこ遊びを楽しむ姿が見られる。 ・自分より年上の子どもを模倣したり、一緒に遊ぶことを喜んでいる。 ・簡単な挨拶や、感謝の気持ちを言葉で伝えられるようになる。
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> ○冬の保健衛生に留意し、感染症予防に努める。 ・生活に必要な習慣が身につき、自分でできることを喜ぶ。 ・公園や児童館にて、シッターや他者と一緒にごっこ遊びや簡単なルールのある遊びを楽しむ。 ・冬の自然に触れ、様々な発見を楽しむ。
内容	養護	<ul style="list-style-type: none"> ○室温、湿度、換気に留意しながら快適に過ごせるようにする。 ・食器や箸の使い方を知り、楽しく食事する。 ・排泄後の始末をシッターと一緒にする。
	学び(遊び)	<ul style="list-style-type: none"> ・冬の自然物に触れ、不思議さに気付く。 ・カルタやごっこあそびなど、簡単なルールのある遊びを楽しむ。 ・いろいろな素材に興味を持ち描いたり作ったりしながら、自分がイメージしたものを表現しようとする。 ・簡単な話の内容がわかり、イメージしながら見たり聞いたりすることを喜び、他者とごっこ遊びを楽しむ。 ・優しくしてもらったことを嬉しく感じ、感謝の気持ちを言葉で伝えられるようになる。
環境構成		<ul style="list-style-type: none"> ・自分で身の回りのことができるように、着替えや靴の置き場所などを配慮する
配慮		<ul style="list-style-type: none"> ・冬の自然現象に触れ、不思議さに気付けるような言葉かけを行なう。 ・食事は、個人差を考慮してスプーン、フォーク、箸を用意する。スプーンやフォークを下からもてるようになったら、興味にあわせて箸に切り替える。 ・排泄後の始末は、前から後ろに拭くように教える。 ・公園や児童館などでの他者との関わりで、うまく言葉で表現できずにいるときは、できるだけ見守りながら、必要な時は言葉を補い、相手の気持ちに気付けるようにする。
保護者との連携		<ul style="list-style-type: none"> ・寒くなると厚着になりがちなので、調節できる衣類を用意するよう伝える。 ・入園後の生活の様子を伝えるなど、保護者にも進級の喜びや安心感をもってもらえるようにする。 ・保護者と連携し、集団生活に備えて生活リズムを整える。